

令和7年度 那覇西高校学校評価集計結果

職員・生徒・保護者を対象に、以下の内容について令和6年度学校評価を実施しました。評価は各項目において、1:そう思う 2:ほぼそう思う 3:あまりそう思わない 4:そう思わない(保護者、学校関係者については「5:わからない」を追加)を選択する方法で行いました。肯定的な意見「1」・「2」、否定的な意見「3」・「4」、分からない「5」(保護者)を選択した割合をそれぞれ下記に示します。(※質問12・18については、質問できていなかったため、回答なしとなっています)

【回答数】 職員:54人 生徒:930人 保護者:135人 学校関係者(学校評議員・PTA役員):6人

I. 経営目標・経営計画

項目	番号	内 容	1・2を選択した割合(%)				3・4を選択した割合(%)				保護者「5」を選択した割合(%)	学校関係者「5」を選択した割合(%)
			職員	生徒	保護者	学校関係者	職員	生徒	保護者	学校関係者		
経営目標 教育計画	1	・学校は、校訓「じりつ」の精神の育成に努めている。	98.1%	89.7%	80.7%	100.0%	1.9%	10.3%	10.4%	0.0%	8.9%	0.0%
	2	・学校は、文武両道の進学校を実践している。	75.0%	80.6%	76.3%	66.7%	25.0%	19.4%	21.5%	0.0%	2.2%	33.3%
	3	・学校は、凡事を徹底し、態度教育を実践している。	90.7%	93.7%	80.0%	66.7%	9.3%	6.3%	9.6%	16.7%	10.4%	16.7%
	4	・学校は、保護者・地域と連携を密にし、信頼に応える学校づくりに努めている。	96.3%	89.4%	80.0%	83.3%	3.7%	10.6%	11.1%	16.7%	8.9%	0.0%
	5	・学校は、各部、学年の先生方が協力して生徒の指導に当たっている。	85.2%	95.2%	80.7%	83.3%	14.8%	4.8%	11.9%	16.7%	7.4%	0.0%
	6	・学校は、3学科(普通科・国際人文科・体育科)の特色を生かした特色ある取り組みを行っている。	96.3%	94.1%	88.9%	83.3%	3.7%	5.9%	5.2%	0.0%	5.9%	16.7%
	7	・本校の生徒は部活等課外活動と学習活動の切り替えが出来ている。(職員・保護者) ・私たちは部活等課外活動と学習活動の切り替えが出来ている。(生徒)	58.8%	88.9%	74.1%	66.7%	41.2%	11.1%	15.6%	33.3%	10.4%	0.0%
	8	・本校の生徒は校風や伝統を受け継ぎ、秩序正しく品格が備わっている。(職員・保護者) ・私たちは校風や伝統を受け継ぎ、秩序正しく品格が備わっている。(生徒)	66.7%	89.5%	79.3%	66.7%	33.3%	10.5%	13.3%	16.7%	7.4%	16.7%

(成果)
学校の教育理念や学校経営に関する項目については、職員・生徒ともに高い肯定的評価が見られ、本校の基本的な教育方針は概ね共有されている。特に次の項目で高い評価が見られた。
・校訓「じりつ」の精神の育成(職員98.1%・生徒89.7%)
・態度教育・凡事徹底(職員90.7%・生徒93.7%)
・学科の特色を生かした教育活動(職員96.3%・生徒94.1%)
・教職員の協力体制(職員85.2%・生徒95.2%)
(課題)
一方で、次の項目では職員と生徒・保護者の認識に差が見られる。
①学習と部活動の切り替え(職員:58.8%、生徒:88.9%、保護者:74.1%)→教職員側の評価が低く、学習時間の確保や両立支援に対する課題意識が強いことが伺える。
②校風・品格の継承(職員:66.7%、生徒:89.5%、保護者:79.3%)→生徒の評価は高い一方、教職員は生活規律や学校文化の継承に課題意識を持っている。
(改善の方向性)
・部活動と学習の両立支援・家庭学習時間の可視化・学習計画指導の充実・放課後学習環境の整備

II. 教育課程・教科指導

教育課程 教科指導	9	・本校の教育課程(授業科目等)は、生徒の実態に合わせて考えられている。	79.6%	89.5%	76.3%	100.0%	20.4%	10.5%	11.1%	0.0%	12.6%	0.0%
	10	・本校は学習規律が整っており、安心して授業を受ける体制ができています。	90.7%	93.2%	80.0%	83.3%	9.3%	6.8%	9.6%	16.7%	10.4%	0.0%
	11	・私たちは各教科の観点別評価の方法について生徒に説明している。(職員) ・本校の先生方は各教科の観点別評価の方法について生徒に説明している。(生徒) ・本校の先生方は各教科の観点別評価の方法について生徒に説明していると聞いている。(保護者)	98.1%	95.9%	70.4%	66.7%	1.9%	4.1%	11.9%	16.7%	17.8%	16.7%
	12	※ ・私たちは、授業内容をわかりやすく工夫し、生徒の学習に関する質問や相談に丁寧に答えている。(職員) ・本校の先生方は、授業内容をわかりやすく工夫し、生徒の学習に関する質問や相談に丁寧に答えている。(生徒)	100.0%	90.3%	-	83.3%	0.0%	9.7%	-	0.0%	-	16.7%
	13	・私たちは、タブレット端末等のICTを活用した授業実践で生徒の情報活用能力を育成している。(職員) ・本校の先生方は、タブレット端末等のICTを活用した授業実践で生徒の情報活用能力を育成している。(生徒・保護者)	86.8%	87.8%	68.1%	50.0%	13.2%	12.2%	14.8%	50.0%	17.0%	0.0%
	14	・私たちは、課題等の取り組みをとおして、家庭学習の定着を図っている。(職員) ・私たちは、家庭学習が定着している。(生徒) ・自分の子は家庭学習が定着している。(保護者)	61.5%	58.0%	45.2%	50.0%	38.5%	42.0%	54.1%	50.0%	0.7%	0.0%
	15	・学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	98.1%	90.2%	43.0%	83.3%	1.9%	9.8%	15.6%	0.0%	41.5%	16.7%
	総合的な 探究の時間	16	・私たちは、「総合的な学習の時間」やキャリアパスポートを通して3つの力(コミュニケーション力、主体性、思考力)を育成している。(職員) ・学校は、「総合的な学習の時間」やキャリアパスポートを通して3つの力(コミュニケーション力、主体性、思考力)を育成している(生徒・保護者)	81.5%	88.8%	48.9%	66.7%	18.5%	11.2%	14.8%	16.7%	36.3%
特別 活動	17	・私たちは、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の主体的な企画力や運営力を育成している。(職員) ・学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の主体的な企画力や運営力を育成している。(生徒・保護者)	98.1%	94.5%	77.0%	83.3%	1.9%	5.5%	10.4%	0.0%	12.6%	16.7%
	18	※ ・私たちは、部活動を奨励し、生徒の学校生活の充実感を高める体制を整えている。(職員) ・学校は、部活動を奨励し、生徒の学校生活の充実感を高める体制を整えている。(生徒)	100.0%	94.1%	-	-	0.0%	5.9%	-	-	-	-
	19	・生徒は、クラスや部活動に居場所がある。(職員) ・自分にはクラスや部活動に居場所がある。(生徒) ・自分の子は、クラスや部活に居場所があるように思う。(保護者)	100.0%	96.0%	88.9%	100.0%	0.0%	4.0%	8.9%	0.0%	2.2%	0.0%

(成果)
 教育課程や授業に関する項目は、職員・生徒ともに概ね高い評価である。主な項目は以下のとおりである。
 ・授業のわかりやすさ（職員100%・生徒90.3%）
 ・観点別評価の説明（職員98.1%・生徒95.9%）
 ・学習規律（職員90%以上・生徒93%）
 (課題)
 一方で、次の項目では課題が見られる。
 ①家庭学習の定着（職員：61.5%、生徒：58.0%、保護者：45.2%）→本調査で最も低い評価であり、家庭学習習慣の定着が大きな課題となっている。
 ②ICT活用（職員：86.8%、生徒：87.8%、保護者：68.1%）→授業では活用されているが、保護者への理解や見える化が不足している。
 ③図書館活用（職員：98.1%、生徒：90.2%、保護者：43.0%）→保護者の「わからない」回答が多く、情報発信不足が課題。
 ④探究活動（職員：81.5%、生徒：88.8%、保護者：48.9%）→探究活動の成果が家庭に十分伝わっていない。
 (改善の方向性)
 ・家庭学習時間の目標設定、・課題内容の見直し・ICTを活用した学習管理
 ・引き続き授業改善に向けた、公開授業や研究授業の推進
 ・探究活動やICT教育の取組については、学校HP、Classi等のICTツールを活用し、保護者への情報発信を強化していく必要がある。

III. 教科以外の指導

生徒指導	20	・本校は、いじめや暴力が生じないような指導を行っている。（職員） ・本校は、いじめや暴力がない。（生徒） ・本校にはいじめや暴力がないと聞いており安心している。（保護者）	98.1%	94.0%	73.3%	50.0%	1.9%	6.0%	14.1%	16.7%	12.6%	33.3%
	21	・本校は、いじめや暴力等の不慮防止及び早期発見、対応体制ができています。（職員） ・本校は、日頃からいじめの実態把握や生徒が発する危険信号等を見逃さないよう早期発見に努め、いじめ事案に対応する体制ができています。（生徒） ・本校の「学校いじめ防止基本方針」を理解している。（保護者）	96.3%	87.6%	57.8%	50.0%	3.7%	12.4%	8.1%	0.0%	34.1%	50.0%
	22	・私たちは、規律ある学校生活（あいさつ、身なり、時間厳守、整理整頓等）を通して、生徒の自己管理能力の育成に努めている。（職員） ・私たちは、規律ある学校生活（あいさつ、身なり、時間厳守、整理整頓等）を通して、自己管理能力を身につけている。（生徒） ・本校の生徒は、規律ある学校生活（あいさつ、身なり、時間厳守、整理整頓等）を通して、自己管理能力を身につけている。（保護者）	92.3%	95.7%	77.8%	83.3%	7.7%	4.3%	14.1%	16.7%	8.1%	0.0%
進路指導	23	・本校は、一人一人にあった進路指導を組織的に行っている。（職員） ・本校は、一人一人にあった進路指導が組織的に進められている。（生徒・保護者）	96.3%	91.0%	61.5%	66.7%	3.7%	9.0%	19.3%	16.7%	19.3%	16.7%
	24	・学校は、課外講座、模試を効果的に設置し、生徒の進路意識の向上に努めている。	75.9%	93.4%	64.4%	66.7%	24.1%	6.6%	14.1%	0.0%	21.5%	33.3%
	25	・大学進学先や進路決定先は、生徒や保護者の希望に沿った指導がされている。（職員） ・学校は大学進学先や進路決定先について、生徒や保護者の希望に沿った指導をしている。（生徒・保護者）	96.3%	95.2%	59.3%	50.0%	3.7%	4.8%	18.5%	16.7%	22.2%	33.3%
健康安全指導	26	・本校は、事件・事故の防止や防災計画が整備され、生徒の安全確保に適切に取り組んでいる。（危機管理体制が完備されている。）（職員） ・本校は、事件・事故の防止や防災計画が整備され、生徒の安全確保に適切に取り組んでいる。（避難訓練や事件・事故の不慮防止を呼びかける放送等）。（生徒） ・学校は、事件・事故の防止や防災計画が整備され、生徒の安全確保に適切に取り組む、危機管理体制が整っている。（保護者）	92.6%	96.6%	68.9%	83.3%	7.4%	3.4%	6.7%	16.7%	24.4%	0.0%
	27	・本校は生徒の心身の健康管理に努めており、教育相談室やスクールカウンセラー等生徒や保護者が相談しやすい体制を整えている。	96.3%	95.6%	54.1%	83.3%	3.7%	4.4%	11.9%	0.0%	34.1%	16.7%
人権侵害防止	28	・本校は生徒に対する人権意識の高揚を図るため、教職員への啓発や研修を行っている。（職員） ・本校職員や部活動指導者の日頃の指導は、生徒の人権に配慮した対応となっている。（生徒・保護者）	96.3%	94.4%	66.7%	66.7%	3.7%	5.6%	15.6%	0.0%	17.8%	33.3%
環境美化	29	・本校は、校内緑化を推進し、緑豊かな学校づくりに努めている。	90.6%	92.8%	76.3%	100.0%	9.4%	7.2%	8.1%	0.0%	15.6%	0.0%
	30	・私たちは、日頃の清掃や教室の整理整頓の指導を通して、美化意識を高め、清掃の習慣を定着させている。（職員） ・私たちは、日頃の清掃や教室の整理整頓の指導を通して、美化意識を高め、清掃の習慣が定着している。（生徒） ・学校は、日頃の清掃や教室の整理整頓の指導を通して、美化意識を高め、清掃の習慣が定着している。（保護者）	85.2%	92.4%	71.1%	83.3%	14.8%	7.6%	8.1%	16.7%	20.7%	0.0%
家庭地域との連携	31	・本校では、本校職員以外の人材を活用した授業や講演等が行われている。	90.6%	93.0%	63.0%	100.0%	9.4%	7.0%	5.2%	0.0%	31.9%	0.0%
	32	・私たちは、学校便り・学校ホームページ・Classi等により、学校や生徒の様子を家庭や地域に発信している。（職員） ・学校は、学校便り・学校ホームページ・Classi等により、学校や生徒の様子を家庭や地域に発信している。（生徒・保護者）	98.1%	95.6%	95.6%	83.3%	1.9%	4.4%	3.7%	0.0%	0.7%	16.7%
	33	・本校では、学校と保護者、地域の情報交換の場が設定されている。	79.2%	91.0%	58.5%	66.7%	20.8%	9.0%	17.0%	16.7%	24.4%	16.7%
職場の働き方改革について	34	同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。（職員）	98.1%				1.9%					
	35	個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています。（職員）	56.0%				44.0%					
	36	一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています。（職員）	92.6%				7.4%					
	37	より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。（職員）	75.9%				24.1%					
	38	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。（職員）	80.8%				19.2%					

(成果)
 生徒指導や学校生活に関する項目は、非常に高い評価となっている。特に次の項目で高評価が見られる。
 ・居場所感（職員100%・生徒96%・保護者88.9%）
 ・学校行事（職員98.1%・生徒94.5%）
 ・部活動（職員100%・生徒94.1%）
 ・規律ある生活（職員92.3%・生徒95.7%）
 これらの結果から、本校の大きな強みは生徒が学校生活に充実感や安心感を持っていることであると考えられる。
 (課題)
 一方で、次の項目では保護者の理解が低い傾向が見られる。
 ①いじめ防止方針の理解（職員：96.3%、生徒：87.6%、保護者：57.8%）
 ②進路指導の評価（職員：96.3%、生徒：91.0%、保護者：61.5%）
 ③進路希望との一致（職員：96.3%、生徒：95.2%、保護者：59.3%）→
 進路指導や生徒支援の取組は行われているが、保護者への周知が十分とは言えない状況が見られる。
 (改善の方向性)
 ・進路説明会の充実・個別面談の強化・学校HPやPTA等を通じた情報発信
 ・いじめ防止基本方針・教育相談体制・スクールカウンセラーの活用などの支援体制についても、保護者への周知を強化していく必要がある。

総括（学校全体の課題）

今回の学校評価から、本校の教育活動は概ね良好に実施されていることが確認された。特に

- ・学校生活への満足度
- ・学校行事や部活動
- ・生徒の居場所感

などは本校の大きな強みである。

一方で、学校全体として次の3点が重点課題として明らかになった。

①家庭学習の定着

本調査で最も低い評価であり、学力向上に向けた最重要課題である。

②保護者への情報発信

探究活動、ICT教育、図書館活用、進路指導、いじめ防止等について、学校の取組が十分に伝わっていない。

③学習と部活動の両立

教職員の課題意識が強く、学習時間確保の視点から改善が求められる。

来年度に向けた重点改善事項（案）

①家庭学習時間の確保と学習習慣の定着

②探究活動・ICT教育の情報発信の強化

③進路指導に関する保護者理解の促進

④学習と部活動の両立支援

⑤学校方針や教育活動の情報発信の充実

今後は、学校評価の結果を学校経営の改善に生かし、教職員が共通理解のもと組織的に教育活動を推進することで、より質の高い教育の実現を目指していく。

また、教職員の働き方については、

教職員の高い同僚性という強みを活かしつつ、個人の裁量時間を回復させるための業務の見直しが求められる。

まずは、課題を部内や担任だけではなく、部外や学年の中で関係する職員と情報を共有し、それぞれの役割を活かしながら連携して取り組むことで、職員の働き方改革の実現を目指していく。